

こどもたちの心のケアについて
 <令和7年度(2025年度)第3回カウンセリングが必要な児童生徒 学校調査結果>

1 方法

「心と体の振り返りシート」等を使ったアンケート結果や日常の児童生徒の健康観察などを通して、学校がカウンセリングを必要と判断した児童生徒の数を集計した。

2 調査期間 令和8年(2026年)1月21日(水)～2月20日(金)

3 対象者 市立小中学校の全児童生徒 59,205人

4 調査の結果

カウンセリングが必要と判断した児童生徒数

3,036人(全体の約 5.13%)

		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
実施日 要因	熊本地震	249	205	171	108	90	74	50	38	38
	新型コロナ	557	304	266	115	112	131	169	108	85
その他			1,086	1,285	1,671	1,853	1,994	2,177	2,370	2,572
合計			1,595	1,722	1,864	2,055	1,876	2,396	2,516	2,695

		令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
実施日 要因	熊本地震	28	29	29	21	18	11			
	新型コロナ	31	30	19	9	8	5			
その他		2,393	2,708	2,655	2,814	3,175	3,138			
合計		2,452	2,767	2,703	2,844	3,201	3,154	2,857	3,015	3,036

【学年別】

学年 (人)	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小学校	中1	中2	中3	中学校
必要数(人)	191	235	293	309	356	262	1,646	522	460	408	1,390

【主な要因】複数回答可

①不登校に関すること	739
②生活習慣のこと (朝起きるのがつらい、睡眠時間が減った、ゲームやインターネットの使用時間の増加など)	309
③友人との関係に関すること	714
④教職員との関係に関すること	78
⑤家庭生活のこと (⑥以外、保護者や兄弟姉妹との関係等)	574
⑥児童虐待、ヤングケアラーに関すること	67
⑦貧困に関すること	21
⑧学習、進路に関すること	373
⑨児童生徒自身のこと (発達に関すること、心身の健康に関すること)	1630
⑩非行・不良行為・暴力行為に関すること	77
⑪性に関すること (性的マイノリティなども含む)	38
⑫熊本地震の影響を受けたこと	5
⑬新型コロナウイルス感染症のこと (感染の恐れや不安など)	0
⑭その他	38